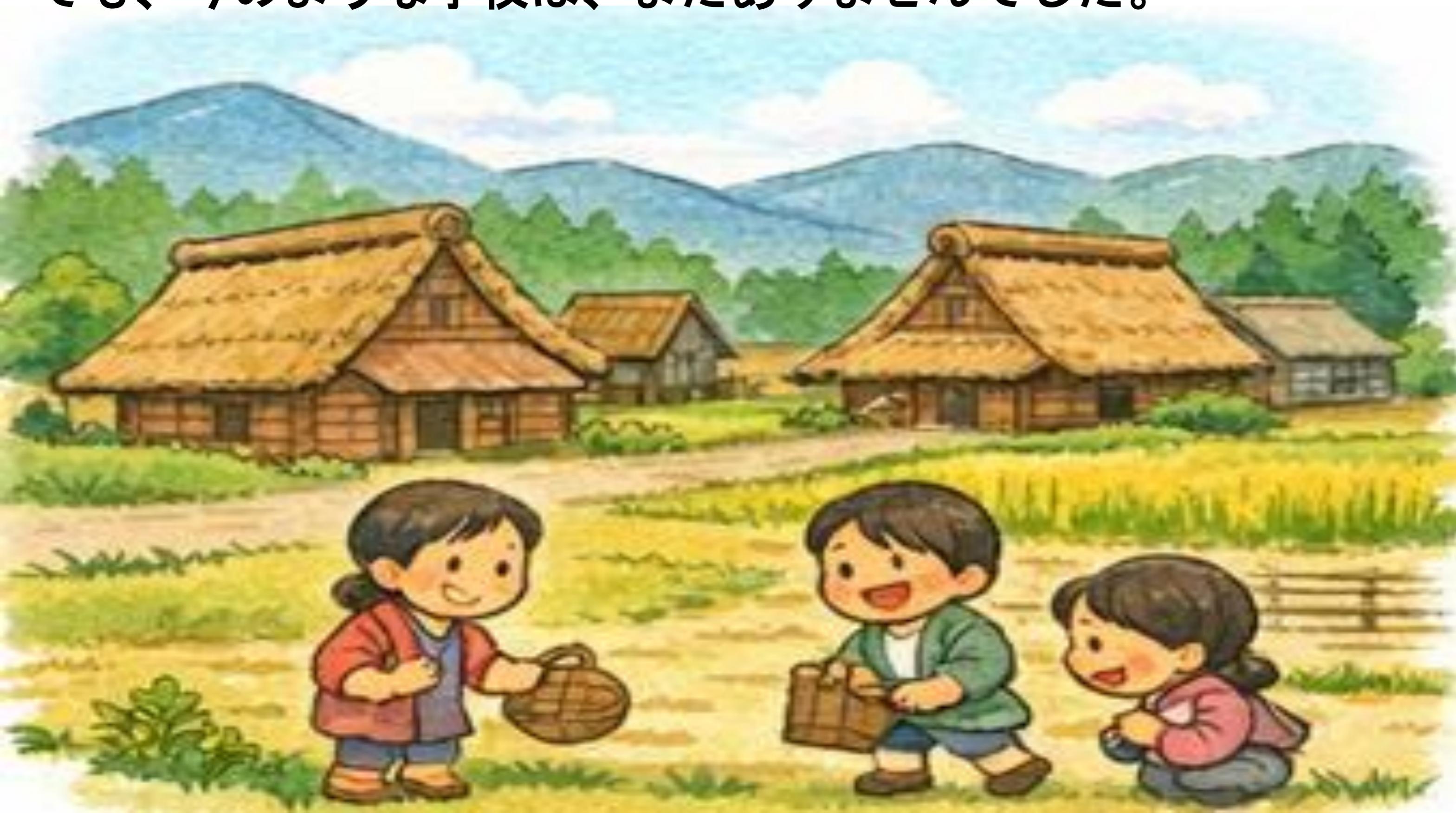


# 和納小学校の創立と伝統

## ～和納小学校 153年の歴史紙芝居～



むかしむかし、今から100年以上も前のことです。  
弥彦山をのぞみ、田んぼが広がる和納の村には、元気な子どもたちが住んでいました。  
でも、今のような学校は、まだありませんでした。



村の大人们は、話し合いました。

「これから時代、字を読んだり、考えたりする力が大切だ」

「和納の子どもたちにも、学ぶ場所をつくってあげたい」

そんなねがいが、少しずつ、大きくなっていきました。



そして、今から 153 年前の明治 6 年 1 月 21 日。  
村の人たちが力を合わせて、学校をつくりました。  
それが、和納小学校です。はじめは願善寺をかりて 60 人の  
子どもたちが学びました。



むかしの教室は、今よりもずっと小さく、道具もたくさんはありませんでした。それでも、子どもたちは、学校で楽しく一生けんめいに勉強をしました。「学べるって、うれしいな」そんな気持ちが教室いっぱいに広がっていました。



たいへんな戦争や、ものが少ない時代もありました。  
雪の多い冬も、子どもたちは学校へ通いました。そのたびに、  
地域の人たちは学校を支え、子どもたちを守りました。  
学校は、みんなの思いがつまつた大切な場所でした。



また、和納小学校では、昔から地域とのつながりを大切にしてきました。自然に学び、人に学び、助け合って生きること。それが、和納小学校の伝統です。



時代は変わり、校舎も新しくなりました。

でも、大切なことは変わっていません。

友だちを思いやる心。みんなで力を合わせる心。地域を大切に  
する心。それは、今も変わらず大切なことです。





今、和納小学校に通っているみなさんは、この長い歴史のつづきです。学校を大切にすること。友だちを大切にすること。地域を大切にすること。  
それが、これからの中学校の伝統になります。



和納小学校は、人の思いがつながってできた学校です。  
これからも、みんなの力で、大切にしていきましょう。

おしまい

おめでとう☆和納小学校

2026年1月21日（水）

